

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	穂高わたぼうし		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが充実していること	子どもたちが興味を持ち、楽しみながら行うことができるように、各分野で考えて行っている。 毎月の職員会でプログラムを提案しあい、意見交換しながら内容をブラッシュアップしている。	子どもたちへのアセスメントを深め、個々にあったプログラムを提供する。 プログラム内容を書面で整理し、どの職員でも担当になれるようにする。
2	個々に応じた支援を行っている。	宿題のサポートや、コグトレ・OTなど個々のニーズに合った支援をしている。 気持ちが不安定な時にクールダウンできるスペースを設けている。 見たいテレビや使いたいおもちゃを発言し、自由時間の中で希望が叶う支援をしている。	定期的に研修を行い、職員間での情報共有をしてケンさんを深めていく。 言葉で気持ちを伝えることが苦手な児童に、可視カードを作成して支援する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置が安定しない。 年休が取れる時期と取りにくい時期に差がある。	職員の退職や、育児休業など。	年休が取得しやすい時期に、計画的に取得を進めていく。
2	地域との交流が少ない	当事業所での活動を優先しているため、なかなか実施できない。 受け入れてくれる地域の資源が開拓できていない。	地域の方々や、保護者・学校などと情報共有していく。 児童館など自法人で運営する資源との交流を増やしていく。
3			